

令和7年度 松本市地域チャレンジ応援事業補助金 一般チャレンジの部 採択事業一覧

地区	No.	区分	事業名	団体名	申請額(円)	事業概要
第二	1	一般	源智の井戸 清掃ボランティア活動事業	源智の井戸を守り隊	188,300	定期的な清掃ボランティア活動(井戸内の清掃、敷地内の水路清掃、草取り)を実施。清掃用品等を購入し、活動体制の整備、「地域の宝を皆で守る」という隊員の連帯意識の醸成、永続的な維持保存活動が期待される。
第三	2	一般	多世代交流による地域活性化子育て応援事業	第三地区ボランティア部会	95,000	地区公民館でカレー・かき水づくり、折り紙体験を開催(夏休み期間)。あがた児童センター秋まつりでS1乗車体験、かき水ブースを出店(9月)。地域と親子との交流を促し、「地域の子どもは地域で育てる」機運醸成が期待される。
東部	3	一般	「うらまち探検」実施事業	信州松本うらまちレジャエンス協議会	200,000	空き店舗や空き駐車場を活用し、ダンスや音楽のステージ発表、販売ブースの出店、クラフトワークショップを開催。うらまちの認知度向上と日常的にきわいづくり、うらまち界隈の地域の魅力向上が期待される。
	4	一般	清水合同音楽イベント	清水親子コーラス	102,000	地域住民を招待し、音楽イベントを開催。清水小金管バンド、清水中合唱部、清水地区ダンススクール、親子コーラスが出演。近年希薄化が課題となっている地域・学校・子育て世代を結ぶ地域活動の創出が期待される。
	5	一般	鯛萬の井戸 清掃ボランティア活動事業	鯛萬の井戸お掃除隊	125,417	3名の有志で行ってきた清掃活動について、今後も継続して行っていくため、広くボランティアを募集する。また、清掃用品等を購入して活動体制を整備し、永続的な保存活動を可能とする。
中央	6	一般	星への挑戦	中央地区子ども会育成会	200,000	開智小校庭での定期的な天体観望会、年に1回の交流キャンプでの天体観望会を開催。撮影した画像を町内公民館での観望会やSNSに活用し、地域内外に魅力を発信。多世代交流の機会の創出、次世代を担う子ども達の人間形成、地域の魅力向上が期待される。
城北	7	一般	高橋家住宅の魅力発信プロジェクト	高橋家住宅の魅力発信プロジェクト	58,330	高橋家に代々伝わってきた季節行事に関する講演会開催、地域の子どもも対象のイベント、ヨガ教室、講演会の試行実施等により、旧武家住宅の魅力を発信し、認知度の向上を図る。
安原	8	一般	安原ハートフルおむすび”笑福ごはん”	”笑福ごはん”	140,000	お料理講習&試食会の開催し、季節の食材を活用したレシピ、栄養バランスに配慮した簡単なメニューの紹介など、地域住民や高齢者、学生が気軽に参加できる場を提供する。また、高齢者向けとしてバランス食と健康維持メニューの提案や、大学生向けに時短・簡単自炊メニューの提案を行う。
	9	一般	～世代をつなぐ手しごとと寺子屋～	”cappuccino”	165,000	裁縫の得意な地域の高齢者・専門家が指導者となり、初心者や若いママさん向けに定期的に手しごと寺子屋を企画する。初心者が気軽に参加できる環境を整えるとともに、世代間の繋がりを深めるため、経験者からのアドバイスや思い出話など、作業中の交流時間を設ける。
田川	10	一般	「両島川を中心とする、田川地区の生物多様性保全活動」	たがわ水辺を守る会	102,000	豊かな生態系の保全と向上を目指し、生態系の調査、河岸の草木の除草伐採、ゴミ拾い等の環境美化活動につとめ、さらに地域住民の生物多様性保全に対する意識向上を図る。
庄内	11	一般	巨大ゴジラの製作による地域の絆づくり	盛々会	200,000	地域の子供達と高校生、大人が主に廃材を利用して協同製作することによって、環境問題の意識を高め、地域の世代間の絆を深める
	12	一般	弘法山古墳から眺望できる山の名前を知る	弘法山古墳を愛する会	200,000	弘法山古墳の上で眺望できる山の名前と山麓にある縄文遺跡の位置が一目でわかるようにする。弘法山古墳より望む満開の桜と残雪のアルプスを来訪客に周知する。
岡田	13	一般	毎日いきいき VIVAのんのん小連続ワークショップ	VIVAのんのん	200,000	いきいきと、美しく、楽しく心地よく生きることを学び、自分の体と心の健康を向上させ、家庭や地域を明るく長く支えることができるようにする。B.Bウォーキング、表現ワーク、ウォーカルレッスン等のワークショップを9回開催
四賀	14	一般	しがの里 夏の体験フェス～魚つかみ大会ふるさと体験～	四賀さとかつプロジェクト	181,000	四賀地区の豊かな自然を活かした「魚つかみ体験」、就労支援団体「明日華」による「しご縄作り体験」、木工家工房「Camp」と「四賀林研」による「新割体験」を同時開催し、地域住民の世代間交流を促す。(7年8月2日開催予定)
	15	一般	両瀬「テラスファーム」プロジェクト事業(Terrace・Terasu・照らす)	囲む会	200,000	イルミネーションの光を活用し、獣害抑制と遊休荒廃農地の再生「光農」に取り組むとともに、地域内農業未経験者や移住者への技術伝承、関係人口促進による地域活性化と持続可能な未来づくりを目指す。
	16	一般	冬の四賀バラ公園で「灯りを学び暮らしに活かす」	四賀バラ公園新実行委員会	200,000	地域資源のバラ公園と活用不足の竹を使い、学びながら楽しめるイベントを開催し、イメージアップや移住促進、関係人口の増加など、様々な地域活性化の波及を目指す。
本郷	17	一般	松門文庫から発信する地域の歴史文化とまちづくり	松門文庫をひらく会	200,000	地域の歴史を語る建物である「松門文庫」の存在意義を理解してもらい、将来的に地域の宝として保存利活用されることで、松本の奥座敷浅間温泉の魅力の1拠点となり、新たな回遊性を生み出し、地域の活性化につなげるもの。(リーフレット制作、シンポジウムの開催)
中山	18	一般	LINE WORKS 活用ステップアップ事業	なかやまLWでつながる会	200,000	・LINE WORKS導入・操作説明会の開催 ・操作マニュアル、FAQの作成 ・情報発信リーダー育成事業、掲示板活用促進事業
	19	一般	和泉の湧き水環境整備	和泉湧水の会	50,000	・水質検査費用 ・湧き水施設整備作業 ・湧き水場所の清掃用具整備 ・湧き水利用時の用具整備
芳川	20	一般	吾妻連の伝統復活！～旧村社を灯籠で映る演出をしながら地域活性化～	吾妻連保存会	200,000	400年の歴史を持つ野清諏訪社の行事を支える吾妻連保存会の活動継続と行事の活性化を目的として、途絶えてしまった町会内街道辻への灯籠設置を復活させたい。平成23年の地震によって廃棄処分になってしまった灯籠を再度製作し、町会内に点灯させることを通じ、町会のつながりの強化と誘客と担い手確保を図る。
寿	21	一般	ことぶき音楽祭	ことぶきおでかけ市プロジェクト	185,650	多世代が音楽に親しむ場を身近な地域に創る。今年度は信大オーケストラの公演を予定。音楽好きな人々をネットワーク化するとともに、将来的には地域独自の音楽祭の開催を見据える。
寿台	22	一般	子ども和太鼓体験～大きな和太鼓を打ってみよう～	寿台太鼓連	200,000	明善学区の子どもたちを対象に、和太鼓の体験教室を開催し、参加した子どもたちの集団化を図り、発表の場(寿台地区の文化祭・町会敬老会、障害者施設等)を設けることを通じて、寿台地区の「元気」を引き出す。
島内	23	一般	地域みんなでつくる！アートで繋がる島内	COCORU	100,000	地域の子どもや親世代が「安心して気軽に集える居場所」を創り、アートやクラフトのワークショップを通じて世代を超えた交流を育み、地域コミュニティを活性化させる。地域資源(農産物、自然素材、地元作家)を活用し、地域経済や文化の振興にも寄与
和田	24	一般	畦畔管理サポート事業	和田地区畦畔管理サポート組合	200,000	担い手不足や高齢化が進み、畦畔の草刈り作業の負担軽減化のため、隊を結成。効率的な方法で生産性の向上を図る。 ・スパイダーモアを購入し、効率化を図る
笹賀	25	一般	デジタル笹賀	デジタル笹賀	200,000	デジタルツールを学び、地域活動への活用を目指す。月2回学習会を行いデジタルスキルの向上を図り、学んだスキルを地域活動に役立てる。
今井	26	一般	そば打ち文化の次世代継承事業	鉢盛そばクラブ	200,000	部活動の地域移行を契機に中学生を対象としたそばクラブを設立。そば打ち技術の習得を通じて多世代交流、人格形成、地域振興などに貢献する。
奈川	27	一般	「奈川の人」を増やそう大作戦	奈川えんがわプロジェクト	200,000	スポーツ大会の企画や伝統文化継承など、大学生と地域住民との交流をとおして継続的に奈川に関わる人を創出するもの。
	28	一般	ながわ青空マルシェ&マーケット2025	ながわ青空マルシェ&マーケット実行委員会	140,000	奈川の夏の魅力を、地区内外に発信するとともに、休園中の保育園などを会場とし、施設のあり方も考えるもの。
安曇	29	一般	白樺新聞の制作	白樺新聞社	150,000	安曇地区の新聞を3か月に1回発行。伝統・文化の継承や移住者支援などの情報を発信するもの。
梓川	30	一般	地域をつなぐピアノ「スタインウェイ」寄贈100周年記念交流事業	梓川有志実行委員会	200,000	梓川小学校音楽室で使用されているピアノ「スタインウェイ」が寄贈100周年を迎えることから、地域住民で実行委員会を組織し、学習会や演奏会を行うことにより、小中学校の児童・生徒の他地域住民にピアノに関わる機会を提供し、ピアノの有効活用と次世代への伝承を図るもの。